ギフト・ショー春2026

個性光る商品開発や販促など提案

多彩な紙・印刷グッズずらり

国内最大級の国際見本市「第一〇一回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2026」が二月四日から六日までの三日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催された。主催は㈱ビジネスガイド社。

併催の見本市「LIFE×DESIGN」、「LIVING&DESIGN」、「グルメショー」を含め二七八九社が出展。紙・印刷関連の各フェアも創意工夫あふれる販促グッズが会場を彩った。

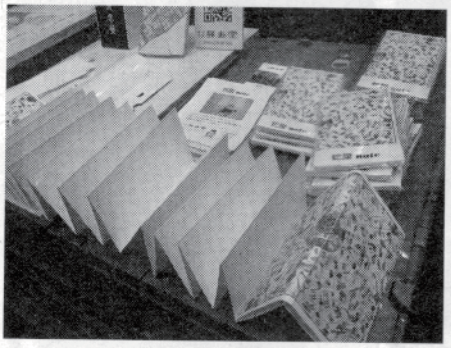
㈱昇寿堂（東京都江東区）は、「蛇腹note」をアピール。古地図柄の表紙を開くと本文用紙が蛇腹折りノートとなっている。長尺仕様でページ構成の自由度が高く、アイデアや作品制作など用途に応じた使い方ができる。紙由来の特殊素材を使用した「推し活ドールボックス」は、大切な推し活グッズを見せながら持ち歩ける人形用ボックス。軽く丈夫な紙製素材で一〇年以上使える。本体カラー・金具などカスタマイズも可能。

食品包材・容器製造の㈱シンメイ（神奈川県横浜市）は、おりがみカップ「ORIGAMI―UTSUWA」を初披露。自分で折りあげる紙製の器として設計されており、円形の紙を蛇腹に折ると立体成型のカップが出来上がる。上から均一に力をかけても開かないため重量物も入れられ、電子レンジやオーブンでも使用できる。絵柄は龍、虎、亀、鳥など。

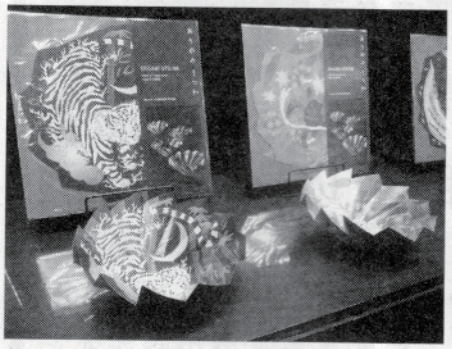
機能紙などの紙製品加工・販売を手掛ける㈱小林（東京都江東区）は、記念品としてパルプモールドの白色だるま（高さ約九〇㍉）にロゴやメッセージなどの印刷を施せる「ペーパーモールドだるま」など提案。テープの糊面同士のみ接着する「紙自着テープ」は、天然ゴム由来の糊剤が片面に塗布された紙をテープ状に巻いている。他の紙や布などには一切付かず、同じ糊剤にのみ反応し強く結着する。

hacomo㈱（香川県東かがわ市）は、恐竜や動物、城、乗り物シリーズなどさまざまな段ボール工作キットを出品。ウゴック（動く）シリーズの新商品「押したくなる貯金箱」や、WOW（ワォ！）シリーズのカプセルガチャなどリアルさを追求した工作を楽しめる。

このほか、㈱一九堂印刷所（東京都中央区）が厚さ約七㍉のコンパクトな紙の財布「ペーパーウォレット」。㈱松浦紙器製作所（愛知県犬山市）が御朱印帳のような持ち歩ける付箋帖「文様付箋帖」。古川紙工㈱（岐阜県美濃市）が小さなお手紙セット「そえぶみ袋」など美濃和紙を使ったオリジナル文具商品。㈱ヤマニパッケージ（岐阜県岐阜市）がブック式形状の菓子箱などを出展した。



昇寿堂の「蛇腹note」



シンメイの「ORIGAMI-UTSUWA」

小林の「ペーパーモールドだるま」（右）